



トピックス



四国センター 一般公開の開催報告 (H28.8.3)

8月3日(水) 毎年恒例の一般公開を開催しました。高松市内を中心に666名のご参加をいただきました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

◇展示・体験コーナーでは、産総研が開発した癒し効果世界一のロボット「パロ」、ペットボトルの中に液状化現象を再現する「エキジョッカー」、高松の海に棲む光る生き物「ウミホタル」など、実物を見る・触れることで産総研の研究成果や科学の面白さを体験いただきました。



◇工作コーナーでは、紫外線に当てると色が変わる不思議なビーズを使ったストラップや、偏光板を使った万華鏡、回折格子を使った分光器などを作って、科学の不思議を体験いただきました。

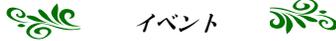


◇市民講座では、地震に関するテーマで内外の専門家にご講演いただきました。また、香川県より地震体験車をお借りし、来場者の皆様に屋内での地震を体験いただきました。



◇見学ツアーでは、いくつかの研究室を回って実験装置などを見ていただきながら、四国センターで行われている研究をご紹介します。





イベント

日本材料試験技術協会 創立60周年記念行事 「讃岐シンポジウム」

(主催：日本材料試験技術協会、共催：産総研ほか)

【日 時】 平成28年9月5日 (月) 9:30～19:20
平成28年9月6日 (火) 8:20～17:30

【会 場】 1日目：香川大学工学部 講義棟1階 (〒761-0396 香川県高松市林町2217-20)
2日目：玉藻公園 (〒760-0030 高松市玉藻町2-1) (集合場所)

【参加費】 2,000円 (材試协会会员および香川県共催団体)、5,000円 (その他)
(交流会：2,000円、見学会：1,000円)

【お申込み】 E-mail (締切：2016年8月12日 (金))

【プログラム概要】

○1日目

- 8:45 ～受付
- 9:30 開会
- 9:40～10:40 オーガナイズドセッション1 「日本材料試験技術協会研究部会活動」
- 10:50～11:40 ショットガンプレゼンテーション
- 11:40～14:20 インターラクティブセッション
- 14:20～14:40 オーガナイズドセッション2 「地域連携活動」
- 14:50～15:50 基調講演「産総研が進める ものづくり産業の高度化を支える計量標準の研究開発」
産総研計量標準総合センター工学計測標準研究部門長 高辻 利之
- 16:00～17:00 特別講演「南海トラフ巨大地震に備える～防災から減災、減災から縮災へ～」
香川大学危機管理先端教育研究センター長 白木 渡 氏
- 17:00 討論会終了挨拶
- 17:20～19:20 交流会

○2日目 (見学)

- 8:20 玉藻公園集合 出発
- 8:30 リーガホテルゼスト高松出発
- 9:10～10:10 産総研四国センター見学
- 10:45～12:00 鎌長製衡株式会社見学
- 12:30～13:20 昼食 (うどん本陣山田屋本店)
- 13:55～15:10 株式会社タダノ見学
- 15:40～16:40 屋島寺 (第84番札所) 散策
- 17:30 JR高松駅解散 (高松空港行 リムジンバス 18:04発)

【問い合わせ先】 日本試験機工業会内 日本材料試験技術協会 事務局
Tel：03-5289-7885/Fax：03-5289-7889
E-mail：info@mtraj.jp

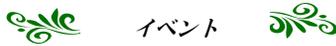
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

mtraj

検索

CLICK!!

http://www.mtraj.jp/sample/sanuki_program_easy.pdf



イベント

第94回「高松5：30クラブ」

【開催趣旨】

地域を元気にする意欲に燃えた人が集まり、肩書き抜きで交流する場、普段なかなか知り合えないような人が一同に集まり、ネットワークの輪を広げる場として「高松5：30クラブ」を開催しています。皆様のお知り合いの方にも広くお声をかけて頂きご出席賜りたくご案内申し上げます。

【日時】平成28年8月24日(水)

第1部 16時00分～17時15分 説明会「ストレスチェック制度の概要と企業の実務対応」
社会保険労務士 佐藤 秀樹 氏

第2部 17時30分～ 交流会

【会場】 高松商工会議所会館2階大ホール（〒760-0017 高松市番町2-2-2）

【参加費】 1,000円

【問い合わせ先】 〒760-0033 高松市丸の内2-5

一般財団法人 四国産業・技術振興センター

E-mail : step@tri-step.or.jp

TEL : 087-851-7025 FAX : 087-851-7027

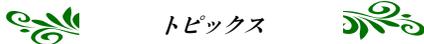
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

高松5：30クラブ

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>



トピックス

産総研の最近の主な研究成果

(平成28年7月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2016/07/05>

3次元物体表面に多層カーボンナノチューブを成長させる簡便な方法を開発
—多層カーボンナノチューブの光学機器分野への応用拡大に期待—

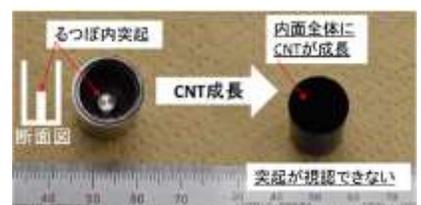
【ポイント】

- ・大気中での簡単な表面処理により、CNT成長に必要な触媒の担持層を成膜
- ・複雑な形状で大型の3次元物体の表面に、多層CNTを成長させることが可能
- ・次世代光学機器用の遮光材の開発や放射温度計校正用の標準光源の高度化への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160705/pr20160705.html

(物質計測標準研究部門、物理計測標準研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2016/07/07>

防災・減災の基礎資料となる越後平野の地質図幅を作成

—新潟市街部の軟弱地盤や近傍の活断層の分布を初めて公開—

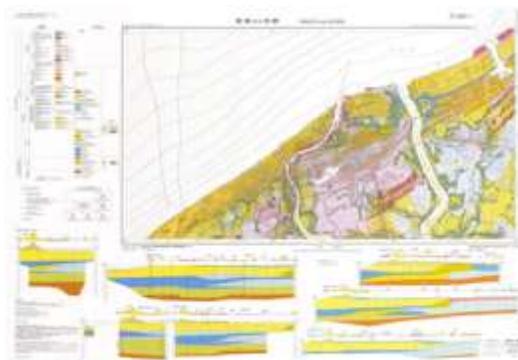
【ポイント】

- ・日本最大の沖積平野である越後平野の地形、地層、活断層などを一枚の地質図に網羅
- ・世界でも有数の厚い（160 m以上）沖積層の分布と特徴を、新しい表示手法を取り入れて詳しく解説
- ・地域の地震防災対策（強震動、津波、液状化）などに活用されることを期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160707/pr20160707.html

（地質情報研究部門）



<発表・掲載日：2016/07/11>

セシウム原子の共鳴を利用した新たな電磁波計測技術を開発

—アンテナを使わずに電磁波の強度を測定—

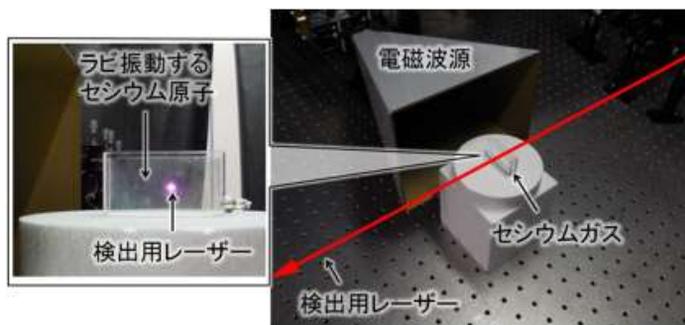
【ポイント】

- ・セシウム原子の共鳴による遷移振動（ラビ振動）を利用して電磁波の強度を計測する技術を開発
- ・通常のアンテナでは困難な、局所的な電磁波強度を高精度に測定可能
- ・電磁環境測定（EMC試験）の高度化や空間電磁界の可視化への応用に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160711/pr20160711.html

（物理計測標準研究部門）



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2016/07/15>

約50年ぶりに富士山の地質図を全面改定

—防災・減災への寄与に期待—

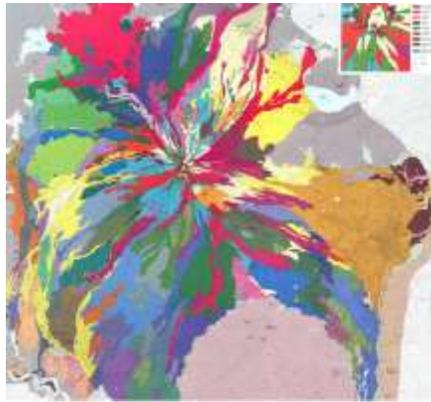
【ポイント】

- ・約50年ぶりに富士山の噴火に関する地質図を改定
- ・10万年の噴火の歴史を表した、現時点での最高精度の実績図
- ・基礎資料として富士山の噴火予測研究や防災・減災に貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160715/pr20160715.html

(活断層・火山研究部門)



<発表・掲載日：2016/07/15>

富士山周辺の水資源・水環境を見える化したマップ

—世界遺産富士山の地下水の科学情報をまとめた「水文環境図」を刊行—

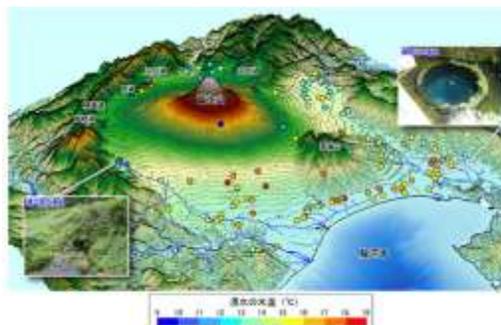
【ポイント】

- ・富士山周辺の地下水の量や、質に関する情報をデジタルマップとして集約
- ・地下水の流れや水質、水温を分かりやすく表示
- ・地下水や地中熱などの地下資源の利用にも貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2016/nr20160715/nr20160715.html

(地圏資源環境研究部門)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2016/07/25>

電波が直接届かない環境でもロボットを安定に制御する技術を開発

—上空のドローンを経由し、見通し外の小型四輪ロボットを遠隔制御できることを実証—

【ポイント】

- ・他のロボットを経由して見通し外にあるロボットの遠隔制御をする無線通信技術を新たに開発
- ・移動によりロボット間の通信経路が切り替わる際でも通信は途切れることなく継続
- ・障害物などで電波が途切れやすい環境での、遠隔操縦ロボットの安定した制御操作への貢献が期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160725/pr20160725.html

(知能システム研究部門)



<発表・掲載日：2016/07/28>

ポータブルなクランプ型精密電流計を開発

—高精度な直流電流計測が容易に—

【ポイント】

- ・60 Aまでの直流電流をクランプ型センサーで精密に測定できるポータブル電流計を開発
- ・センサー部での誤差要因を自動検知・補正することで高精度化を実現
- ・電気自動車の開発やデータセンターの消費電力モニタリングなどでの利用に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160728/pr20160728.html

(物理計測標準研究部門)





他機関の情報

キャンパスベンチャーグランプリ2016 募集のご案内 ～第14回CVG四国～

(主催：キャンパスベンチャーグランプリ (CVG) 四国実効委員会)

【趣旨と目的】

CVG四国とは、新事業、新産業の創出を目的に、大学生、大学院生、専門学校生を対象にした「ビジネスプランのコンペ」です。学生から新商品、新事業など各種ビジネスプランを広く公募し、優れたプランを顕彰、事業化精神を養い、「日本の次代を担う若者を育成」していくのが趣旨です。豊かな発想、卓越した技術、ユニークなアイデア、みなぎる冒険心を持つ若者の挑戦に期待し、新しい人材育成の方向である問題発見・解決型の人材を育てる狙いもあります。

【応募期間】

平成28年8月1日～10月31日

【応募資格】

四国地域（香川県、愛媛県、徳島県、高知県）にある大学（大学院）、高等専門学校、短期大学、専門学校に在籍する学生、大学院生が対象。応募は個人でもグループでも構いません。

【応募部門】

テクノロジーとビジネスの2部門

①テクノロジー部門

技術的な要素を背景にした提案。独創的な技術に基づく、または既存の技術をもとにした新製品開発、サービス、ビジネスモデルの提案。各種電機・機械製品、装置などハードウェアの開発・製品化をはじめ、パソコン・携帯電話用のソフトウェア開発や、それらを用いたサービスも含む。

②ビジネス部門

ユーザー視点のサービスや、日常生活やキャンパスライフで思い浮かんだ事業アイデアの提案。地域資源（地域特性を有する技能や、農林水産などの産業・観光資源）を活用したプラン、地方の活性化を促すビジネスモデルの提案。

【事務局】

日刊工業新聞社大阪支社総務部内 CVG四国事務局

Tel：06-6946-3321/Fax：06-6946-3329

E-mail：cvg-s@media.nikkan.co.jp

CVG四国

<https://www.cvg-nikkan.jp/index/shikoku/>

検索 CLICK!!